鋳鉄製水道用量水器ボックス規格書

１．適用範囲

この規格書は、奈良市において使用する鋳鉄製水道用量水器ボックス（φ１３粍、φ２０粍、φ２５粍、φ４０粍）について規定する。

２．構造及び形状

鋳鉄製水道用量水器ボックスの構造及び形状は図－２のとおりとし、以下の構造を有するものとする。

Ⅰ）蓋部と受枠の接触面は、ガタツキのないように仕上げること。
Ⅱ）蓋部と受枠が取り外し可能で、それぞれが交換可能であること。
Ⅲ）蓋部の開閉は滑らかで、１００°以上開き、安定なこと。

３．材料及び寸法

３－１　材　　質

蓋　　部・・・黒色・FCD500 製
（密着性に富み、防食性、対候性に優れた黒色塗料にて塗装）

受　　枠・・・黒色・FC200 製又は、蓋部と同じ
（密着性に富み、防食性、対候性に優れた黒色塗料にて塗装）

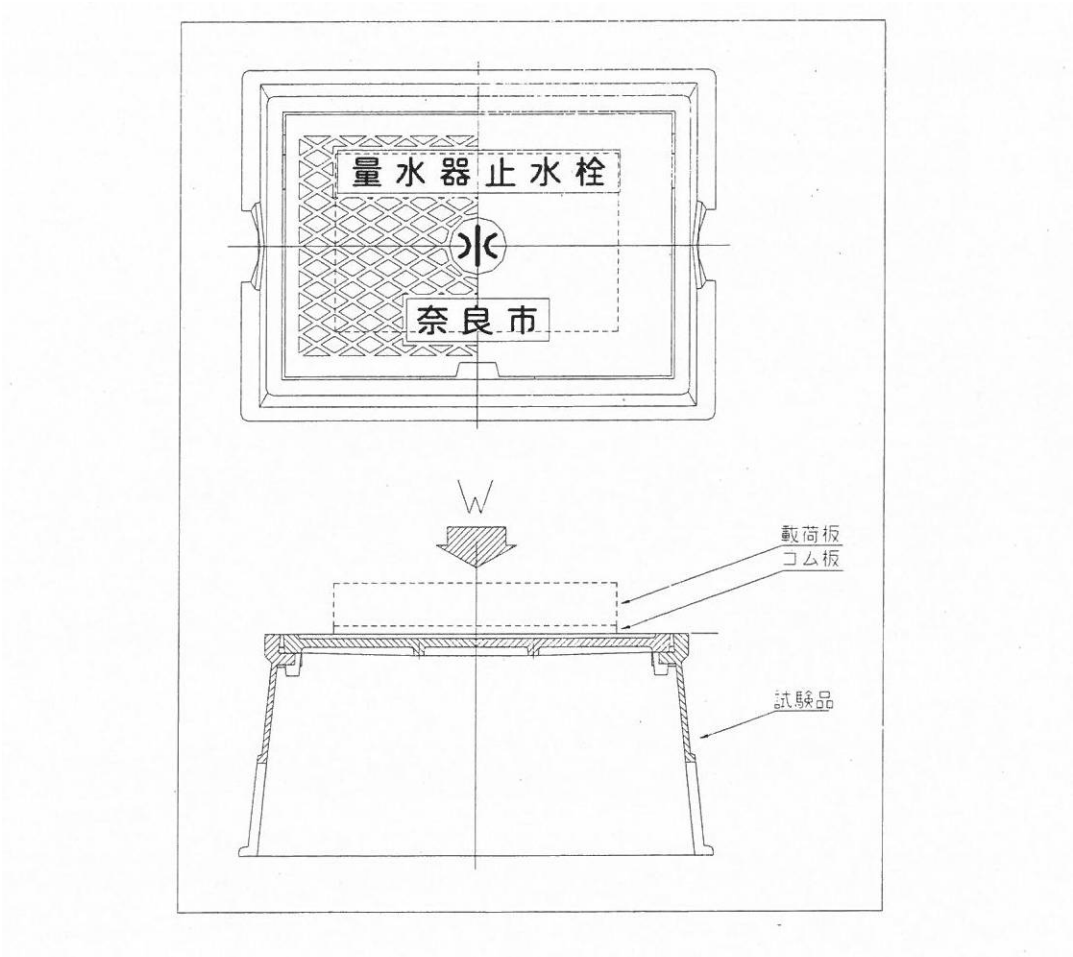
適応荷重・・・Ｔ－２　破壊荷重＞２０ＫＮ＝５ＫＮ(安全荷重)×４(安全率)

蓋中央に良質のゴム板を敷き、その上に１２５×２００㎜角、厚さ３０㎜の載荷板をおく。その箇所に表－１に示す試験荷重を図－１に示す要領で、一様な速さで５分間以内に加える。規定の荷重を加え１分間保持した後、割れ及び、ひびの有無を目視によって調べ、割れ及び、ひびがあってはならない。また、蓋の操作性は開閉が容易に行なわれ、蓋と受枠とのがたつきがあってはならない。

表－１　耐荷重性の試験荷重

種　　類	載荷板（ｍｍ）	破壊荷重（ＫＮ）
φ１３耗用	１２５×２００、厚３０	２０以上
φ２０耗用		
φ２５耗用		
φ４０耗用		

図－１　荷重試験要領図



３－２　寸　　法

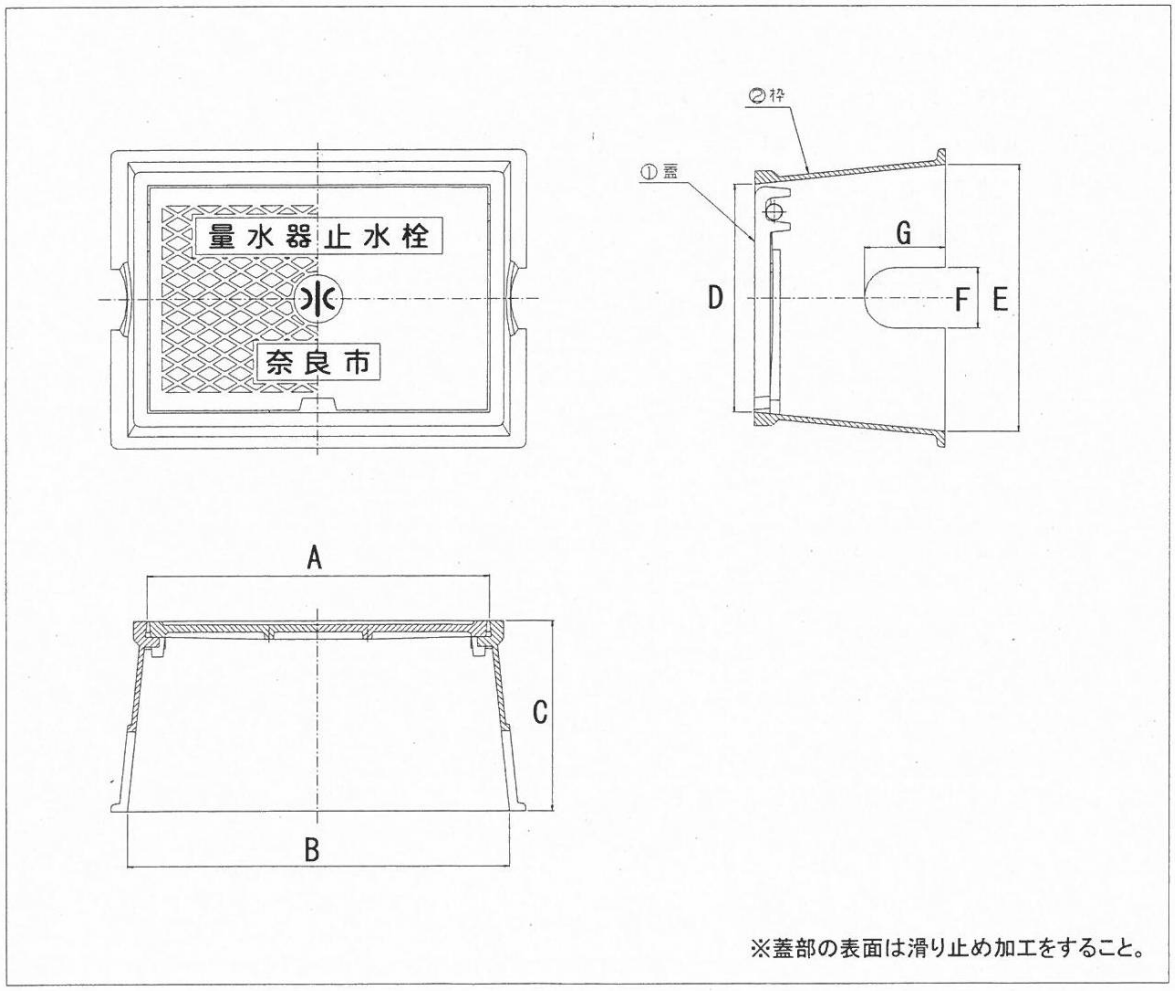
寸法規格は表－２及び図－２によるものとする。

表　－　２　寸　法　規　格　表

記号は図－２参照　（単位㎜）

種　類	A	B	C	D	E	F	G
φ１３耗用	270～330	310～370	150～190	180～210	210～240	50～70	60～80
φ２０耗用	420～490	430～500	180～220	190～240	240～290	60～70	80～100
φ２５耗用	490～590	510～610	180～220	220～270	250～300	60～70	80～100
φ４０耗用	420～550	440～590	240～280	280～340	310～370	90～120	100～120

図－２　参考図



４．外　　観

４－１　鋳鉄製水道用量水器ボックスの外観

鋳鉄製水道用量水器ボックスの内外面はなめらかで、こぶ、きず、鋳ばり、巣等の有害な欠陥があってはならない。ただし、軽微なものについては、アーク溶接などによる補修を行うことができる。

４－２　塗装後の外観

塗装後の外観は塗り残し、あわ、ふくれ、はがれ、異物の付着、塗りだまり、著しい粘着、その他使用上有害な欠陥があってはならない。

５．表　　示

Ⅰ）蓋部の表面には、「奈良市」もしくは「奈良市章」を表示すること。
Ⅱ）蓋部の表面には、「量水器止水栓」、「止水栓量水器」もしくは「量水器」を表示すること。
Ⅱ）蓋部の表面は、滑り止め加工をすること。
Ⅲ）蓋部の裏面には、容易に消えない方法で、次の事項を明示すること。
　① 製造業者名又は略号
　② 製造年（西暦下２桁）・・・刻印打刻か、もしくは刻印に変わるもの。

６．検査要領

Ⅰ）外　観
Ⅱ）材　料
Ⅲ）構造、形状及び寸法
Ⅳ）性能（耐荷重性、耐衝撃性、操作性）
Ⅴ）表　示

７．届出について

Ⅰ）製作図及び検査要領書を作成し、本市に届出をすること。
Ⅱ）本市に届出している内容に変更が生じた場合は、変更届を提出すること。

８．納入について

この規格書に基づき検査を行い、品質が規格書通りであることを確認し、納入すること。

改定日　令和　５年　１０月　１日